



2013年7月30日
イオン株式会社

国内小売業初！エネルギーマネジメント規格ISO50001を取得

イオン株式会社は、グループ環境目標「イオンのエコプロジェクト」の一環として国際標準化機構（ISO）のエネルギーマネジメント規格であるISO50001を取得しました。このたびの取得は、国内小売業として初の認証取得となります。

ISO50001は、事業者がエネルギーマネジメントシステムを確立する際に必要な要求事項を定めた国際標準規格です。PDCA（Plan-Do-Check-Act）サイクルに基づいたエネルギー管理体制を構築するためのガイドラインとして世界で活用されています。

「イオンのエコプロジェクト」は、使用エネルギー量を「へらす」、再生可能エネルギーを「つくる」、災害時に地域を「まもる」の3領域で、2020年までの具体的な達成目標を定めた環境目標です。この目標を達成するため、当社は次世代型エコストア「スマートイオン」をはじめ、エネルギー効率のよい環境負荷の小さい店づくりを進めています。

当社は、店舗を中心とするエネルギーの効率化にグループ体となって取り組むため、国内外のグループ各社を対象としたエネルギーマネジメント体制を構築し、日本環境認証機構（JACO）より第三者監査を受けてISO50001の認証を取得しました。今回の認証適用範囲は、イオン株式会社が行うグループ※全体への統括的マネジメント活動を対象としています。

イオンのエネルギーマネジメント体制

ISO50001に基づくPDCAサイクルによるマネジメント体制を構築しました。

- ◆Plan（計画）：イオン株式会社によるグループのエネルギー方針の策定
…「イオン サステナビリティ基本方針」、「イオンのエコプロジェクト」
- ◆Do（実行）：グループ横断的なエネルギー効率の改善、環境投資の実施
…店舗照明のLED化、エネルギーアドバイザー制度 等
- ◆Check（評価）：グループ各社におけるエネルギー使用状況の定期的な集計
- ◆Act（改善）：方針・目標、施策の見直し、改善

なお、当社のグループ全体で取り組むエネルギーマネジメントの体制強化と災害時に店舗を防災拠点として活用するための事業継続計画（BCP）策定は、経済産業省「グループ単位による事業競争力強化モデル事業」に小売業として唯一選ばれています。

イオンは、持続可能な社会の実現のため、これからもグループをあげてさまざまな取り組みを実施してまいります。

※省エネ法特定事業者に指定されている連結決算対象子会社及びこれに準ずる国内外の子会社 計48社

ご参考

【「イオンのエコプロジェクト」について】

2012年に策定した「イオンのエコプロジェクト」は、節電、省エネに対する社会的ニーズの高まりや、東日本大震災の経験をふまえた2020年度までのグループ環境目標です。本プロジェクトは、エネルギーの使用を「へらす」、再生可能エネルギーを「つくる」、地域を「まもる」の3つの作戦を柱にさまざまな取り組みを実施します。



◆へらそう作戦：エネルギー使用量のさらなる削減と効率的な利用

2020年度に2010年度比でエネルギー使用量を50%削減することを目標に、既存店舗への省エネ設備の導入やエネルギーの運用コントロールを高める「見える化」に取り組めます。

また、エネルギー使用量を従来比で20%以上削減する「イオンのエコストア」に、スマートコミュニティの視点を取り入れた次世代エコストア「スマートイオン」の開発に取り組む、本年度はイオンモール八幡東、イオンタウン新船橋、イオンモール大阪ドームシティ、イオンモール幕張新都心の4つの「スマートイオン」を展開します。

◆つくろう作戦：再生可能エネルギーを積極的に創出

2020年度までに一般家庭約4万5千世帯分の年間消費電力に相当する20万kWクラスの再生可能エネルギーを創出する設備を導入します。現在、太陽光パネルを約160店舗に設置しており、その創電能力は1.3万kWです。太陽光発電を中心に2014年度までに10万kWに拡大し、2020年度までにさらに10万kWの創電能力を設けることで、合計で20万kWの創電能力の構築を目指します。新規設置の太陽光発電については、固定買取制度を活用し、売電収益をさらなる環境投資に充当します。

◆まもろう作戦：地域を守る生活インフラ機能を保有

地域のくらしのライフラインとして機能できるよう、自治体と締結を進めている「防災協定」のほか、店舗を中心とした取り組みを実施しています。大型店舗を中心とする全国100カ所の店舗においては「防災拠点」として活用するため、一時避難場所としての利用はもちろん、コージェネ発電の導入等を進め、非常時においても営業を継続しお客さまに商品をご提供できる体制を整えていきます。

【「スマートイオン」について】

イオンは、これまでに、エネルギー消費量を既存比で20%以上抑制する「イオンのエコストア」をはじめ、環境に配慮した店づくりを進めてきました。

本年からは「イオンのエコプロジェクト」の一環として、「イオンのエコストア」に新たな“まちぐるみ”の視点を取り入れた次世代型エコストア「スマートイオン」の開発に取り組んでいます。

「スマートイオン」は、「まもろう作戦」の防災拠点となるべく、防災・地域インフラの構築を柱の一つとし、EV充電ステーションの設置を必須条件としています。5月には、防災対応に重点を置いた“防災対応型”の「スマートイオン」国内1号店「イオンモール大阪ドームシティ」をオープンしました。



私たちは、地域のお客さまとともに、持続可能な店舗づくりを中心とした、コミュニティづくり、まちづくりを実現してまいります。
「イオンとともに暮らすことが、エコになる」そんな生活を提供できるよう、私たちイオンは、環境・社会・経済に対する責任を果たしていきます。

